

精神科領域専門医研修プログラム

■ 専門研修プログラム名：関西医科大学総合医療センター連携施設 精神科専門医研修プログラム

■ プログラム担当者氏名：木下 利彦

住 所：〒570-8506 大阪府守口市文園町 10-15

電話番号：06-6992-1001

F A X：06-6995-2669

E-mail：kinoshit@takii.kmu.ac.jp

■ 専攻医の募集人数：（ 10 ）人

■ 応募方法：

履歴書を書きメールアドレスに送付の上、面接申し込みを行う。

宛先；〒570-8506 大阪府守口市文園町 10-15 北館 4階

関西医科大学 精神神経科研究室

医局長 吉村 匡史 （事務担当；秘書 大西）

TEL；06-6993-9470

FAX；06-6995-2669

e-mail；kmup1@takii.kmu.ac.jp

■ 採用判定方法：

教授と医局長が履歴書記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用の適否を判断する。

I 専門研修の理念と使命

1. 専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

2. 使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

3. 専門研修プログラムの特徴

【特徴】

1. 大阪の中心近くに位置する地域急性期・大学病院として実学的な研究・医療
2. 専門外来から精神リハビリテーションへと全人的な治療を目指す外来診療
3. 診断目的、身体合併症、特殊治療といった難治症例へ対応している入院体制
4. 総合病院としての精神科救急、緩和・リエゾン医療への関わり
5. 数多くの連携施設と、専門医・認定医の存在
6. 国内外、分野をまたがってトランスレーショナルに行われている活発な研究活動

関西医科大学精神神経科は 1932 年に設立以降 90 年間、大阪の中核病院として精神医療に重要な役割を果たしている。

基幹病院となる関西医科大学総合医療センターの精神科は大阪市と隣接する全国でも有数の人口密集地に位置している。外来診療では、大規模デイケアと作業療法を中心としたリハビリテーション部門も含めた柔軟で幅広い医療を行い、精神科救急では、身体合併症に関して医療圏の中心的役割を担い、精神保健指定医を救命科に複数名派遣する体制で身体科連携し、積極的な救急医療を展開している。入院治療としては、難治症例に対して、修正型電気けいれん療法、クロザピン治療、反復経頭蓋磁気刺激、先端知識・技術による精査・診断、リエゾンチームや緩和ケアチームなど、幅広い領域に精神科医が積極的に関わる総合病院として機能している。精神保健に関しては、企業におけるメンタルヘルス・産業医活動、保健所、地域における勉強会を通しての知識の普及活動が行われている。基幹病院において専攻医はこのような精神科医療全般にわたる医療活動に従事しながら様々な症例を指導医と共に診療するため、精神科専門医として十分な経験を得ることができる。

連携施設としては大学本院にあたる関西医科大学附属病院や、大阪を中心とした総合病院精神科、診療所、大阪府精神医療センター、また、大規模精神科単科病院を中心に様々な医療機関と連携を行っており、児童思春期、老年期、依存症治療、地域医療といった専門医療を研修することが可能である。

また、脳科学から、医療倫理も含む社会学の最新知識に基づく試みも行われており、オーダーメイド治療を目指した遺伝薬理、精神分析研究と最新の脳科学を融

合したニューロイメージ、インダストリー分野と提携して研究を進めているニューロモジュレーションといった分野においてトランスレーショナルに研究を進めている。また、一方では、緩和医療、自殺、社会復帰といった心理、地域、社会的な分野と密接に関わる研究も行われており、専攻医は、日常臨床と並行して幅広い分野における最先端の研究に触れることが可能である。研究活動への関わりにより、医師に必要な情報の収集と適切な評価と応用、医療倫理が獲得でき、高い資質を備えた専門医が育まれることが期待できる。このような専攻医の育成に使命を感じる指導医を豊富に有していることが、本プログラムの特色である。

【指導医の保有資格】（2020年4月時点）

- ・精神保健指定医
- ・精神科指導医・専門医（日本精神神経学会）
- ・日本臨床精神神経薬理学会指導医・専門医
- ・一般病院連携精神医学指導医・専門医
- ・日本緩和医療学会精神腫瘍学の基本教育に関する指導医
- ・日本老年精神医学会指導医・専門医
- ・日本認知症学会指導医・専門医
- ・日本児童青年精神医学会認定医
- ・日本性機能学会専門医
- ・日本臨床神経生理学会脳波分野指導医・専門医
- ・セックス・セラピスト
- ・日本G I D学会認定医
- ・認知症サポート医
- ・温泉療法医
- ・日本精神分析学会認定精神療法医
- ・日本医師会認定産業医

II. 専門研修施設群と研修プログラム

1. プログラム全体の指導医数・症例数

- プログラム全体の指導医数：114人

■ 昨年一年間のプログラム施設全体の症例数

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	9968	14467
F1	2765	2158
F2	22980	58594
F3	10516	11732
F4 F50	6514	3591
F4 F7 F8 F9 F50	3273	3160
F6	464	449
その他	84	629

2. 連携施設名と各施設の特徴

A 研修基幹施設

- ・施設名：関西医科大学 総合医療センター
- ・施設形態：私立大学病院
- ・院長名：杉浦 哲朗
- ・プログラム統括責任者氏名：木下利彦
- ・指導責任者氏名：木下利彦
- ・指導医人数：（ 9 ）人
- ・精神科病床数：（ 39 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	600	231
F1	42	13
F2	835	310
F3	812	469
F4 F50	662	1505
F4 F7 F8 F9 F50	172	1756
F6	31	35
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当大学病院は、大阪・京都という大都市を結ぶ京阪電鉄の沿線上にあります。大都市近隣の環境であるため、多彩な年齢・疾患層の方が来院され、精神科教育に必須となる「十分な臨床を経験」することができます。当教室の教育プログラムの特徴は、強固な基礎的臨床技術を習得できることです。精神科診療の基礎である「一般（総合）外来」の陪席や検査補助、病棟での入院主治医と、その症例に対する頻回なカンファレンス、最新の知見や「うつ病」「認知症」といった専門分野についての勉強会・学会発表を経験します。各人の臨床的興味や特性に応じた診療スタイルを確立することができます。

幅広い精神科専門分野の指導医による指導、麻酔科と連携して施行する修正型電気けいれん療法、新たに保険収載された経頭蓋磁気刺激、関西初の大学附属病院での精神科デイケア・作業療法、緩和ケアを含む他科と連携したリエゾン精神医療などの大学総合病院（総合入院体制加算 1、取得：全国 11 病院のみ）の特徴を生かした幅広い臨床経験が得られます。

私たちは研究に関しても「真剣」に行っており、特に臨床研究では国内でも有数の水準にあります。

主な研究グループには、ニューロフィジオロジー（神経生理学）グループ／臨床薬理・ゲノム薬理グループ／ニューロイメージンググループ／老年精神医学グループ／うつ病・気分障害グループ／薬剤性ジストニアグループ／精神療法研究グループがあります。私たちの教室の最大の特徴は、それぞれの人生プラン、キャリア形成に合わせて融通を利かせることができる「柔軟さ」を持ち合わせていることです。

B 研修連携施設

1. 施設名：関西医科大学附属病院

- ・施設形態：私立大学病院
- ・院長名：澤田 敏
- ・指導責任者氏名：加藤 正樹
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(0) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	598	0
F1	20	0
F2	55	0
F3	572	0
F4 F50	303	0
F4 F7 F8 F9 F50	45	0
F6	40	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

統合失調症、うつ病、神経症、認知症などの外来治療や一般身体科に入院している患者に対する精神科リエゾンコンサルテーション、癌患者に対する緩和ケア、救命救急科と連携した精神科救急などを主として行っている。精神科スタッフは少人数であるが、担当症例について個別に指導を受けることができる。

2. 施設名：医療法人長尾会 ねや川サナトリウム

・施設形態：民間単科精神科病院

・院長名：長尾喜一郎

・指導責任者氏名：長尾喜一郎

・指導医人数：(5) 人

・精神科病床数：(267) 床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	547	171
F1	33	10
F2	805	325
F3	561	118
F4 F50	332	23
F4 F7 F8 F9 F50	74	33
F6	4	6
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、精神科救急入院料1算定病棟（60床）、認知症治療病棟1（59床）、精神療養病棟（104床）、精神一般病棟（44床）の5病棟を有し、様々な精神疾患に対応しております。特に精神科救急入院料1算定病棟（いわゆるスーパー救急）を昨年5月から運営し、大阪府精神科救急、身体合併症支援にも参画し、北河内地区における精神科救急拠点病院として機能しております。また、循環器内科専門医が常勤し、滝井救命救急センター医師が週1回半日、大学病院血液内科専門医が週1日、放射線科にも大学教授でもある専門医に読影をお願いしており、精神科単科でありながら身体疾患にも対応できる体制を整えております。修正型電気けいれんを実施し、同法人医療機関である長尾会クリニックデイケアでは大規模デイケア、訪問看護ステーションを運営しており、同法人内には宿泊型自立訓練事業所、グループホームを有し、地域移行・地域定着支援についても積極的に取り組んでいます。また、本年より認知症初期集中支援事業の寝屋川市より委託を受け、地域での認知症支援の関わりの強化を始めたところである。

3. 施設名：医療法人清心会 八尾こころのホスピタル

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：柏井 洋平
- ・指導責任者氏名：柏井 洋平
- ・指導医人数：(3) 人
- ・精神科病床数：(513) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	2069	357
F1	33	21
F2	1450	412
F3	952	169
F4 F50	477	35
F4 F7 F8 F9 F50	193	60
F6	33	10
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は薬物依存、児童領域については基本的に扱わないがそれ以外の疾患はほとんど扱っている。当院は同法人にクリニックと地域活動支援センター、八尾市委託の包括支援センター、認知症疾患医療センターを持つ。また精神科デイケア 重度認知症デイケア 認知症治療病棟 精神科急性期治療病棟がある。当院は認知症領域と精神疾患の領域の双方に力を入れていて、いずれも地域との連携を大切にしている。地域との社会資源との交流や市民の会への参加など地域活動も盛んである。またアウトリーチ活動としての訪問看護、精神保健福祉士の訪問、精神科医の訪問診療や往診（他の医療機関に対するリエゾンを含む）を積極的に実施している。心神喪失者等医療観察法における通院医療機関に指定されており、同法による鑑定入院を経験できる。クロザピンによる治療が経験できる。修正型電気痙攣療法の実施を予定している。

4. 施設名：社会福祉法人青祥会 セフィロト病院
- ・施設形態：社会福祉法人 単科精神科病院
 - ・院長名：松岡 俊樹
 - ・指導責任者氏名：松岡 俊樹
 - ・指導医人数：(6) 人
 - ・精神科病床数：(179) 床
 - ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	497	77
F1	10	15
F2	297	151
F3	346	28
F4 F50	610	6
F4 F7 F8 F9 F50	642	11
F6	3	1
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

精神一般病棟 60 床、認知床治療病棟 59 床、精神療養病棟 60 床を有し、滋賀県北部（湖北地域）唯一の精神科単科病院として、地域との連携、機能分化の強化を図りつつ、慢性期精神疾患患者の受け入れを積極的に行っているが、地域の精神科救急医療体制を支える輪番制病院として措置入院等の受け入れも行っている。

また、平成 27 年 10 月 1 日に滋賀県から「認知症疾患医療センター」の指定を受け、地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図るため、認知症の早期診断、早期治療、身体合併症や周辺症状の治療、地域連携の推進、人材育成や情報発信等、湖北地域における認知症医療に積極的に取り組んでおり、多彩な精神疾患、症例を経験することが可能である。

5. 施設名：医療法人爽神堂 七山病院

・施設形態：単科精神科病院(私立)

・院長名：本多 義治

・指導責任者氏名：本多 義治

・指導医人数：(5) 人

・精神科病床数：(640) 床

・疾患別入院数・外来数 (年間)

疾患	外来患者数 (年間)	入院患者数 (年間)
F0	282	166
F1	182	118
F2	667	290
F3	601	164
F4 F50	284	39
F4 F7 F8 F9 F50	149	64
F6	21	21
その他	0	0

・施設としての特徴 (扱う疾患の特徴等)

1. 精神科救急・・・精神科救急入院料病棟を1つ有し、積極的に救急を受け入れている。

2. 対応疾患、機能分化・・・思春期から老壮年期にかかる全ての精神科疾患に対応 (認知症治療病棟2つ、合併症病棟1つ、慢性期病棟、亜急性期病棟等)。医療観察法の指定通院医療機関であり現在3名通院中。措置入院も積極的に受け入れている (年間20件以上)。クロザリルによる治療抵抗性統合失調の治療を行っている (CPMS 登録医療機関)。

3. 関連施設・・・サテライトクリニック2ヶ所、精神のグループホーム3ヶ所、老健、訪問看護ステーションあり。

5. 専門外来・・・物忘れ外来、児童思春期外来。

6. リハビリ・・・精神科作業療法、デイケア・デイナイトケアを実施している。

6. 施設名：医療法人以和貴会 金岡中央病院

- ・施設形態：精神科病院
- ・院長名：高野 照起
- ・指導責任者氏名：香林 正仁
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(486) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	118	54
F1	466	169
F2	358	11,741
F3	131	33
F4 F50	26	2
F4 F7 F8 F9 F50	2	0
F6	1	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は統合失調症を中心とした精神疾患全般に対応している。中でも、認知症治療病棟（60 床）とアルコール専門病棟（48 床）を持っている。特にアルコール医療は、大阪市、堺市の人口約 300 万に対して唯一の入院機能を備え、その中心となるべく努力している。

又、グループホームを 3 箇所（定員 19 名）運営し、地域支援室を中心に訪問看護等にて入居者をはじめ地域で生活する方々の支援を実践している。

7. 施設名：医療法人 仁康会 小泉病院

- ・施設形態：医療法人単科精神科病院
- ・院長名：山岡 信明
- ・指導責任者氏名：山岡 信明
- ・指導医人数：(6) 人
- ・精神科病床数：(392) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	569	236
F1	108	48
F2	565	247
F3	338	61
F4 F50	217	17
F4 F7 F8 F9 F50	20	32
F6	9	9
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、392床を有する精神科単科病院ですが、広島県精神科救急医療システムに参画（輪番制）し症例は豊富で多様な精神疾患への経験が可能です。

当院の特徴として、急性期治療病棟から一般病棟、社会復帰病棟等院内で患者様の症状に応じた病棟機能を有した編成となっています。

さらに、サテライトクリニックの港町クリニックと連携し、島嶼部（因島、瀬戸田）に出張診療も行い地域連携を重視した診療体制を整えています。

また、退院後、社会復帰に向けたステップとしてグループホームや共同住居も設置しています。精神科訪問看護、精神科デイケア、就労継続支援 B 型事業所も施設内に設置し患者様の退院・社会復帰支援に取り組み、あらゆる角度からの経験を積むことが可能な施設です。その他、認知症治療病棟も有し、もの忘れ外来や認知症初期集中支援チームにも取り組み、広島県よりひきこもり相談支援センター事業も委託され実施しています。

8. 施設名：医療法人桐葉会 木島病院

- ・施設形態：医療法人
- ・院長名：高瀬 勝教
- ・指導責任者氏名：高瀬 勝教
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 492 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	83	49
F1	29	23
F2	165	168
F3	99	58
F4 F50	22	15
F4 F7 F8 F9 F50	9	33
F6	2	6
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は大阪府・貝塚市（泉州二次医療圏）に位置する、492床の単科精神科病院である。入院患者は、統合失調症圏（F2）が62%、認知症を主体とする気質性精神障害（F0）が20%、気分障害（F3）が5%を占める。

第三者評価については、1999年、日本医療機能評価機構が行う病院機能評価の認定病院となった。その後、更新を繰り返し、昨年、4回目の認定を更新した。

関連施設として、精神障害者への医療福祉サービスはもとより、その他、介護老人保健施設「コスモス楽寿苑」、認知症高齢者グループホーム「コスモスガーデン」、社会福祉法人 特別養護老人ホーム「貝塚誠心園」を併設し、高齢者の医療介護のサポートを行っている。

精神障害者への地域支援活動としては、就労継続支援 B 型事業所・宿泊型自立訓練（生活訓練）事業所「コミュニティ・プラザ」を展開するほか、精神科デイケア、精神障害者地域生活援助事業（グループホーム）「コミュニティ・アクア」、訪問看護ステーション「あおぞら」の運営を行っている。

さらに、うつ病やストレス疾患の患者さまが、アクセスしやすい施設として、大都市部（大阪市）と地方都市部（貝塚市）において、それぞれ『心療内科さくらクリニック』2ヶ所を開設している。（「中之島フェスティバルタワー・さくらクリニック」（大阪府中之島・大規模デイケア併設）、心療内科「貝塚・さくらクリニック」（貝塚市・小規模デイケア併設））。ここでは、気分障害とストレス関連疾患を中心に精神科デイケアにおいて、職場復帰を目的とした認知行動療法にもとづく『リワークプログラム』を行い、うつ病などメンタルヘルス不全による休職者及び離職者の、復職支援を積極的に行っている。

大阪府全域で行う『大阪府精神科緊急・旧医療体制』に参画し、緊急措置入院の診察をはじめ、夜間休日・精神科救急医療にも積極的に参画している（昨年の措置入院は15件）。

また、平成27年8月から始まった大阪府が全国に先駆けてはじめた『精神科合併症支援システム』にも積極的に参画し、一般化救急医療における精神科疾患への支援を行っている。院内では常勤内科医・外科医とともに、多職種によるチーム医療を展開し、褥瘡予防による皮膚・創傷回診をはじめ、院内感染委員会や栄養委員会などで取組みを行っている。

- 9.施設名：医療法人白水会 紀泉病院
- ・施設形態：医療法人 単科 精神病院
 - ・院長名：村田 章
 - ・指導責任者氏名：村田 章
 - ・指導医人数：(4) 人
 - ・精神科病床数：(260) 床
 - ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	105	49
F1	5	5
F2	428	145
F3	42	12
F4 F50	120	5
F4 F7 F8 F9 F50	25	20
F6	18	2
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

- ① 内因性精神疾患、発達障害等を中心に病院、自宅、グループホーム、デイケア、作業所当を連携させて、大阪南部、和歌山県北部の地域復帰活動を行っている。
- ② 認知症を中心とした高齢者精神疾患について、地域公的機関、介護施設、一般病院と連携して一貫したケアを行っている。
- ③ 慢性期疾患の患者について、加齢による身体機能の低下を防ぐため、理学療法、作業療法を積極的に行い、同時に必要であれば、外科系、内科系病院と連携して転入院も積極的に行っている。

10. 施設名：医療法人おくら会 芸西病院

- ・施設形態：医療法人立精神科病院
- ・院長名：岩村 久
- ・指導責任者氏名：戎 正司
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(171) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	219	27
F1	20	2
F2	214	77
F3	9	6
F4 F50	144	1
F4 F7 F8 F9 F50	10	4
F6	5	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

高知県東部に位置し、内科療養病棟を持つ精神科病院である。高齢化率の高い地域にあり、認知症治療病棟を有し、また併設の介護老人保健施設は認知症専門棟があり、認知症対応グループホームを併設し、高齢、認知症の症例が多い。リハビリテーションスタッフが充実しており、精神科リハビリテーションや、発達障害児のリハビリテーションにも取り組んでいる。

11. 施設名：医療法人社団 瀬田川病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：青木浄亮
- ・指導責任者氏名：青木浄亮
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 282 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	368	130
F1	0	0
F2	64	26
F3	30	20
F4 F50	4	0
F4 F7 F8 F9 F50	0	1
F6	0	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

滋賀県内の精神科単科病院であり、県指定の認知症疾患医療センターおよび96床の認知症治療病棟を中心として、認知症診療を中心とした老年期精神科疾患の診療を行っている。他方、滋賀県精神科救急医療システム事業における輪番病院にも指定されており、自傷他害を含む急性期精神科疾患にも対応している。

12. 施設名：公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院

- ・施設形態：単科精神科病院（公益財団法人）
- ・院長名：由利 和雄
- ・指導責任者氏名：由利 和雄
- ・指導医人数：（ 5 ）人
- ・精神科病床数：（ 350 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	308	102
F1	28	13
F2	660	194
F3	577	57
F4 F50	312	17
F4 F7 F8 F9 F50	99	25
F6	14	4
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

滋賀県の琵琶湖の東側中部に位置する精神科専門病院であり、精神科病床350床を有しています。入院病棟は精神一般病棟、精神療養病棟、認知症治療病棟、新たに精神科急性期治療病棟と認知症疾患医療センターを開設し機能分化を行っています。外来、入院を問わず多彩な症例を経験することができます。JR近江八幡駅から徒歩数分の立地であり、京都、大阪へのアクセスも良好です。

また、当院野球部は天皇賜杯軟式野球全国大会や国民体育大会軟式野球成年男子の部に連続出場しています。

平成13年に協力型臨床研修病院の指定を受け、毎年数名の研修医を受け入れています。

13. 施設名：医療法人好寿会 美原病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：本西正道
- ・指導責任者氏名：本西正道
- ・指導医人数：(12) 人
- ・精神科病床数：(562) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	119	48
F1	17	8
F2	487	137
F3	64	40
F4 F50	16	15
F4 F7 F8 F9 F50	32	25
F6	9	5
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

措置入院を含む統合失調症、双極性障害、うつ病の症例が豊富で新規の入院では認知症周辺症状の症例も多い。単科精神科病院における基本的な疾患について幅広く経験することができる。加えて常勤内科医1名、非常勤内科医4名が勤務しており、内科合併症を有する症例にもある程度対応している。関連施設として訪問看護ステーション、老人保健施設、救護施設、グループホームを有しており、それらとの連携についても経験できる。精神科救急については大阪府の救急後送システムの協力病院として受入れをしている。

14. 施設名：医療法人正正会 分野病院

- ・施設形態：私立病院
- ・院長名：分野 正雄
- ・指導責任者氏名：分野 正雄
- ・指導医人数：(2) 人
- ・一般科病床数：(100) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	300	56
F1	61	11
F2	488	122
F3	713	160
F4 F50	462	32
F4 F7 F8 F9 F50	7	32
F6	9	1
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は大阪市の中心地、京橋という交通至便の場所で、近くには大阪城公園、大川公園など自然にも恵まれ、ビジネスパーク、デパート、商店街など買い物や生活に密着した環境の中で社会と交わりながら治療をすすめていきます。交通の利便性からビジネスマンや学生などを中心に幅広い年齢層の患者様が来院され、特に F2、F3、F4 圏の症例が多く経験できます。精神科リハビリテーションにも力を入れており、就労支援を行うワーキングリワークデイケア、身の周りの日常生活能力を身に着ける生活維持型デイケア、社会生活と職業生活の対処技能を高める治療訓練型デイケア・ナイトケア、重度認知症デイケアの 4 種類のデイケアを行い、様々なレベルの患者様に対して社会復帰をサポートしております。

また、もの忘れ専門外来を行っており、F0 認知症の診断、治療、マネジメントについて実践的な経験を積むことができます。

15. 施設名：地独）大阪府立病院機構 大阪府立精神医療センター

- ・施設形態：公立単科精神科病院
- ・院長名：岩田 和彦
- ・指導責任者氏名：荒木 陽子
- ・指導医人数：（ 8 ）人
- ・精神科病床数：（ 473 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	92	35
F1	290	120
F2	875	688
F3	375	139
F4 F50	520	95
F4 F7 F8 F9 F50	612	121
F6	79	25
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

大阪府の公的精神科単科病院として 90 年の歴史を有し、急性期から社会復帰まで様々な精神疾患の診療を担っている。

スーパー救急病棟（40 床）では措置入院を含む多くの非自発的入院症例を経験できる。さらに医療観察法病棟（33 床）、児童思春期病棟（50 床）を有し、司法精神医学や児童思春期精神医学領域の研修も可能である。

また保健所や地域生活支援センターなどの地域の関係機関と連携しながら、精神障害をもつ人の退院支援を積極的に行っている。在宅医療室ではアウトリーチ活動を実施しており、慢性期症例の地域生活支援も研修できる。

16. 施設名： 医療法人社団 光風会 三光病院

- ・施設形態： 精神科・内科
- ・院長名： 市川 正浩
- ・指導責任者指名（要指導医）： 市川 正浩
- ・指導医人数：（ 4 ）人
- ・精神科病床数：（ 320 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	221	39
F1	877	125
F2	760	313
F3	453	60
F4 F50	69	8
F4 F7 F8 F9 F50	107	17
F6	101	1
その他	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴）

本院は、病床数 320 床のうち、急性期 32 床、精神一般 70 床、療養病棟 218 床、香川県東部では唯一の単科の精神病院であり、県内はもとより県外の精神科の症例が集まりやすい環境にあります。統合失調症を中心にアルコール依存症の専門チーム医療を行っており、日精協が行っている『アルコール依存症臨床医等研修』の実習実地医療機関です。

日精協の研修を受けていただければ、その後、本院において断酒会の出席（半日研修）のみで『実習修了証明書』を発行しております。これらは、『重度アルコール依存症入院医療管理加算』で診療報酬上 点数にもなり、本院の特徴でもあります。

院内でも毎週、月木は断酒会を開き、県内外から 100 名程の参加者が来院されています。又、近年増加傾向にある認知症に関しては入院治療、及び、長期療養に関しては老人保健施設で対応しています。精神科外来としては訪問看護及びデイケア、デイナイトケアで継続治療を行っております。

17. 施設名：市立豊中病院

・施設形態：自治体立一般病院

・院長名：堂野 恵三

・指導責任者指名（要指導医）：宮川 真一

・指導医人数：（ 1 ）人

指導医氏名；専門医登録番号

・ 宮川 真一 第 32071597 号

・精神科病床数：（ 0 ）床、一般科病床数：（ 613 ）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	1242	0
F1	53	0
F2	35	0
F3	63	0
F5	57	0
F6	1	0
F4/F7/ F8/ F9	3	0

関西医科大学精神神経科以外の基幹病院とも連携を組む予定（2つ以上の基幹病院の連携施設になることは可能です。研修可能症例数などに注意が必要となります）

なし あり (1) 大阪大学医学部附属病院 (2) さわ病院

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴）

地域がん診療拠点病院、地域支援病院である中核病院の無床精神科であり、基本的に多職種によるチーム医療を行っている。すなわち、入院部門では精神科リエゾンチーム、緩和ケアチーム、認知症ケア・せん妄予防チームでの活動が主体であり、外来部門ではもの忘れ外来を中心として認知症看護認定看護師、老人看護専門看護師、臨床心理士と協働して認知症のチーム医療を行っている。それぞれのチーム活動の展開として、がん患者のサポートグループ、認知症患者の院内デイケアなどの集団療法も行っており、多彩なチーム医療を習得することができる。

18. 施設名：医療法人山西会 三田西病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：藤田宏史
- ・指導責任者氏名：藤田宏史
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 200 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	76	99
F1	18	0
F2	151	34
F3	102	13
F4 F50	253	124
F4 F7 F8 F9 F50	5	0
F6	2	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

三田西病院は 200 床の精神科病床を持つ単科精神科病院です。

入院では主に精神疾患および認知症の高齢者の治療に当たっており、多彩な身体疾患の合併するケースも多く治療経験をつむことができます。一般科からの後送、転院を受け入れておりリエゾン領域、ライフサイクルのエンドステージでのマネージメントを経験することができます。外来では一般精神科として認知症だけでなく統合失調症、気分感情障害、神経症などを診療対象としています。

19. 施設名：医療法人敬性会 神戸白鷺病院

- ・施設形態：民間単科精神科病院
- ・院長名：高野 守秀
- ・指導責任者氏名：海賀 和宏
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(278) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	44	46
F1	0	0
F2	285	81
F3	38	20
F4 F50	15	5
F4 F7 F8 F9 F50	0	0
F6	1	1
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、精神一般 160 床、精神療養 118 床の合計 278 床の精神科の単科の病院です。

元来、田舎の精神科病院らしく統合失調症を主とした精神病圏を加療して参りましたが、10 数年前より認知症の患者を積極的に受けるよう努力をしてきました。日本老年精神医学会認定病院でもあり、地域の診療所・施設との連携も重視しています。元よりの統合失調症を主とした精神病圏の患者及び認知症に伴う B P S D の患者が入院の主体となっております。また、鑑定入院・措置入院も適宜受け入れています。

20. 施設名：施設名：医療法人山西会 宝塚三田病院

- ・施設形態：精神科病院
- ・院長名：山西 行徳
- ・指導責任者氏名：長尾 浩史
- ・指導医人数：（ 5 ）人
- ・精神科病床数：（ 681 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	352	186
F1	132	80
F2	848	623
F3	299	183
F4 F50	232	116
F4 F7 F8 F9 F50	2	1
F6	33	10
その他	0	96

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は兵庫県最大の 681 床を有する精神科単科病院であり、従来から急性期の精神疾患に対する治療を積極的に行っている。現在、48 床の精神科救急病棟と、57 床の急性期治療病棟（精神科急性期医師配置）を有しており、兵庫県の精神科救急の中核的病院である。症例は統合失調症をはじめとして、気分障害、器質性精神障害、精神作用物質による精神障害、神経症圏など、多岐にわたる精神疾患の入院治療の実戦経験を積むことができる。

21. 施設名：医療法人亀廣記念医学会 関西記念病院

- ・施設形態：単科精神科病院
- ・院長名：亀廣 摩弥
- ・指導責任者氏名：亀廣 摩弥
- ・指導医人数：(2) 人
- ・精神科病床数：(270) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	72	11538
F1	27	1215
F2	701	36435
F3	334	9109
F4 F50	243	1215
F4 F7 F8 F9 F50	78	607
F6	8	303
その他	0	303

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、統合失調症、双極性障害、認知症の周辺症状の症例も多く、単科精神科病院における基本的な疾患について幅広く経験することができる。大阪府の救急医療システムにも参画しており、当番日には、夜間の急性期精神科疾患にも対応している。

心神喪失等医療観察法における通院医療機関に指定されており、同法による指定通院対象者の治療を行っている。

デイケアにおいては、体力づくり、SST、心理教育などを行うとともに復職支援プログラムとしてリワークデイケアも実施している。

訪問看護ステーション「CoCo」においては、病気や障害を持った人たちが、住み慣れた地域や家庭でその人らしい療養生活を送れるよう、自立への援助を促し、日常生活を支援している。

22. 施設名：医療法人 恒昭会 青葉丘病院

・施設形態：民間内科・精神科病院

・院長名：玉垣 千春

・指導責任者氏名：玉垣 千春

・指導医人数：(3) 人

・精神科病床数：(357) 床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	99	103
F1	18	8
F2	473	265
F3	170	60
F4 F50	111	24
F4 F7 F8 F9 F50	143	32
F6	5	3
その他	0	1

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は南河内地域に位置する大阪狭山市にあり、精神科 357 床（精神一般病棟：177 床、精神療養病棟：180 床）に加えて内科病床 324 床を有するため様々な精神疾患のみならず、身体合併症支援にも参加し多くの身体合併症も経験できる。積極的に身体合併症を受け入れるにあたり、内科常勤医に加え整形外科、リハビリテーション科、歯科の常勤医、眼科、皮膚科、放射線科の非常勤医師も勤務しているため合併症治療に対しての体制も整っている。また、神経内科医、精神科医による物忘れ外来もあり、認知症の鑑別診断や行動心理学的症状の治療も積極的に取り組んでいる。院内には患者・家族を包括的にサポートし、快適な療養空間を提供するため医療 福祉相談室、ケアプランセンターに加え訪問看護ステーションを併設し、看護師、作業療法士、理学療法士の訪問を行っており退院後のケアや認知症を含む高齢者へのスムーズな支援を提供しているため、医師とコメディカルのチーム医療の実践に参加できる。

23. 施設名：医療法人 恒昭会 藍野花園病院

- ・施設形態：精神科病院
- ・院長名：清水 信夫
- ・指導責任者氏名：清水 信夫
- ・指導医人数：(8) 人
- ・精神科病床数：(546) 床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	486	293
F1	244	118
F2	9640	4,741
F3	2146	502
F4 F50	647	62
F4 F7 F8 F9 F50	802	173
F6	15	3
その他	0	191

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

近郊都市茨木の中心部からさほど遠くない場所にあるという特性からか、最近を受診患者の多様性が増してきている。抗精神病薬だけでなく睡眠薬や抗パーキンソン薬などについても処方量の軽量化を進めてきており、とりわけ非定型抗精神病薬については本格的に導入されて以頼、処方の単純化を診療方針の前面に打ち出している。ちなみに、統合失調症の入院患者に対する抗精神病薬の単剤化率 57%強は、全国 300 床以上の精神科病院の中で第一位を誇っている。統合失調症患者だけでなく、双極性障害、神経症圏の疾患、発達障害など、外来・入院ともに多彩なステージの症例を経験することが可能である。長期入院患者の地域移行において病院近隣に居住する患者が多く、必然的に往診や訪問看護にも力点を置いている。多職種医療チームによる訪問を主として近隣に居住する患者を対象に実施しており、退院後の生活の不安を軽減する努力は患者から好評を得ている。また、周辺地域の老年期精神障害（認知症を含む）の患者の要請も増加しつつあり、診療だけでなく認知症対策（主として予防）のための地域一体となつての啓発活動を開始している。その他、血液内科医が常在している環境を生かし、クロザリル使用医療機関としての登録を行った。

24. 施設名：医療法人貴和会 防府病院
- ・施設形態：医療法人 単科 精神科病院
 - ・院長名：水津信之
 - ・指導責任者氏名：水津信之
 - ・指導医人数：(3) 人
 - ・精神科病床数：(160) 床
 - ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	120	18
F1	8	4
F2	245	99
F3	38	8
F4 F50	35	0
F4 F7 F8 F9 F50	2	0
F6	3	0
その他	0	36

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

特に統合失調症と認知症の入院を中心に診療しております。外来はいずれの疾患でも診療します。

25. 施設名：医療法人社団立青会なるかわ病院

- ・施設形態：精神科病院
- ・院長名：藤寄 泰利
- ・指導責任者氏名：藤寄 泰利
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 360 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	3 2 4	2 4 7
F1	2 6	1 8
F2	3 2 5	2 2 5
F3	3 8 6	9 3
F4 F50	1 6 9	1 0 7
F4 F7 F8 F9 F50	2 2 0	2 5
F6	9	1
その他	1 3	2

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は、北海道の南、函館市や北海道新幹線発着駅のある北斗市に隣接する七飯町にあります。病床としては、精神科病床 120 床、精神科療養病床 180 床、精神科急性期治療病床 60 床の他、内科療養病床 36 床を設置する病院で、精神科救急医療体制への参加、精神鑑定の実施など、道南圏域において精神科の基幹病院の一つとしての役割を担っております。

症例としては、入院患者では認知症患者が約 3 割、統合失調症が 3 割、神経症性障害が 1 割等となっておりますが、身体疾患を合併しているケースも多く、様々な体験を積むことができます。

外来では、精神科疾患全般にわたる症例を診療対象としており、七飯町のみならず、函館市や近隣市町からの患者様も多く、年々増える傾向にあります。

また、精神科作業療法・精神科訪問看護にも力を入れており、患者様の退院・社会復帰に向けた取組み、支援も積極的に進めております。

26. 施設名：医療法人清風会 茨木病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：高橋大輔
- ・指導責任者氏名：高橋大輔
- ・指導医人数：（ 3 ）人
- ・精神科病床数：（ 340 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	84	71
F1	9	5
F2	1291	455
F3	449	115
F4 F50	156	50
F4 F7 F8 F9 F50	0	0
F6	16	2
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

許可病床数 340 床。措置入院などの精神運動興奮などの激しい行動を伴う患者の診療を行うとともに、精神科救急医療に輪番として参加。また精神科急性期治療病棟内に設けられた認知症の治療ユニットで診療にあたる。デイケアセンター、OTセンター、就労支援センター“オンワーク”、地域活動支援センター“菜の花”、“菜の花”障害者支援センター訪問看護ステーション“そよかぜ”などで幅広い治療ケア、精神科リハビリテーションを習得する。

27. 施設名：医療法人社団向陽会 向陽病院

- ・施設形態：私立単科精神科病院
- ・院長名：山口 健也
- ・指導責任者氏名：川村 博司
- ・指導医人数：（ 2 ）人
- ・精神科病床数：（ 345 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	51	23
F1	17	7
F2	647	285
F3	109	35
F4 F50	78	2
F4 F7 F8 F9 F50	15	1
F6	1	0
その他	0	0

- ・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は病床 345 床で一般病床 114 床、療養病棟 231 床です。地理的に有馬温泉が近くにあり、緑に囲まれたアットホームな雰囲気です。昭和 41 年開院以来、父・山口陽雄は、患者さん中心の心やすらぐ医療を第一に掲げ、常に「明るく楽しい」病院を目指してきました。“遊び”を主体にした療法を治療の柱として積極的に取り入れ、着実な成果を上げてきました。チーム医療を基盤に職員の意識の向上に努めるのはもちろん、患者さんの居住性の向上にも力を注ぎ、多様な面から、より一層、信頼される病院づくりに取り組んでいます。音楽療法活動を中心に、絵画・クラフトなどの創作活動、箱庭療法などを開設当初から取り入れています。なかでも、音楽療法活動は、直接情動に働きかけ、美的感覚や満足感をもたらし、発散の場となり、集団においては社会性や協調性を促す効果があります。そこで、集団音楽療法を重視し、器楽合奏、ハンドベル、コーラスの活動を行っています。器楽合奏は、リコーダーを中心とした

初心者向けのチームとアコーディオンやデジタルホーンを中心に音楽性を重視した本格的なチームがあり、患者さまの能力や状態に応じて曲や楽器を選別し、全員が楽しめるように工夫しています。ハンドベルはその音色を楽しむとともに、集団療法ならではの責任性・協調性・連帯感を得る場となっています。また「歌う」ことは直接的な情動の発散になり、自我機能の強化にもつながるため、コーラスには多くの方が参加されています。受動的なものではレコード・コンサートも開催し、「聴く」ことによる情動への働きかけを行っています。その他、絵画は週1回、集団療法の形で行っています。これは、患者さまの自己表現の場であることはもちろん、精神的内界を理解するひとつの機会となっています。



28. 施設名：福岡大学病院

- ・施設形態：私立大学病院
- ・院長名：岩崎 昭憲
- ・プログラム統括責任者氏名：川寄 弘詔
- ・指導責任者氏名：川寄 弘詔
- ・指導医数：（ 7 ）人
- ・精神科病床数：（ 60 ）床
- ・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	153	18
F1	7	9
F2	77	48
F3	103	53
F4 F50	216	56
F4 F7 F8 F9 F50	52	41
F6	39	1
その他	149	

【研修の特色】

福岡大学病院は915床（うち精神科60床）を有する特定機能病院であり、「あたたかい医療」という基本理念を掲げ、救命救急センターでの3次救急の受け入れや地域のがん診療連携拠点病院としてがん診療など、地域の中核病院として社会のニーズに応えるよう医療活動を行っている。

当教室は伝統的に精神分析的な精神療法などの精神療法を学ぶ環境が充実しており、地域精神医療に根ざした患者中心の臨床精神医療を徹底している。また大学病院における精神神経科の役割を果たすために、身体合併症患者のリエゾンコンサルテーション、緩和ケアチームや認知症疾患医療センターへの参画、救命救急センターと協力した自殺企図者への介入、産婦人科や小児科と協同した周産期母子、小児や児童思春期（虐待児とその家族、発達障害、ADHDなど）への対応といった幅広い治療活動も行っている。

【研修の内容】

福岡大学病院では生物 - 心理 - 社会的な幅広い知識とバランスの取れた技能や態度を獲得し、精神科専門医の資格を取得することを目標とする。

専攻医は病棟医として入院患者を受け持ち、面接の仕方、診断と治療計画の策定、他科と協力関係の作り方などを、指導医から教育を受ける。病棟ではチーム制での診療を行っており、配属されたチーム内で複数の指導医よりアドバイスを受けることが可能である。また当施設のデイケアは全国で初めて認可された大学病院デイケアであり、コメディカルスタッフも多く、多職種でのチーム医療を実践している。デイケアでは統合失調症や発達障害などを中心とした社会復帰プログラムを行っている。週に1回はデイケアプログラムにも参加し、退院後の経過といった継続的な医療について学ぶ機会も設けている。精神療法に関する研修、スーパービジョン（症例の治療に関する指導）なども希望者は受けられる。

当施設では大学という研究機関でもあるため、研究や学会発表についても指導を受けることが可能であり、病棟での上級医のほかに、臨床以外でも相談ができる病棟上級医以外の担当者をそれぞれの専攻医に配置している。(コンサルテーションシステム)学会等での発表や雑誌への投稿も定期的に行っており、その指導をコンサルテーションで受ける。希望者は大学院への進学も可能である。各々の興味のある臨床分野や研究分野があれば、より重点的にその領域に関わることが出来る。

3. 研修プログラム

1) 年次到達目標

専攻医は精神科領域専門医制度の研修手帳にしたがって専門知識を習得する。研修期間中に以下の領域の知識を広く学ぶ必要がある。

1. 患者及び家族との面接
2. 疾患概念の病態の理解
3. 診断と治療計画
4. 補助検査法
5. 薬物・身体療法
6. 精神療法
7. 心理社会的療法など
8. 精神科救急
9. リエゾン・コンサルテーション精神医学
10. 法と精神医学
11. 災害精神医学
12. 医の倫理
13. 安全管理

年次毎の到達目標は以下の通りである。

到達目標

1年目：

基幹病院または連携病院で、指導医と一緒に、統合失調症、気分障害、器質性精神障害等の患者を受け持つことで面接技法、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。また、リエゾン・コンサルテーション精神医学や時間外対応などの精神科救急医療も指導医とともに経験する。特に面接によって情報を抽出し診断に結び付けるとともに、良好な治療関係を構築し維持することを学ぶ。精神療法についても、支持的精神療法、認知行動療法、力動的な精神療法についての基礎知識を学ぶ。

2年目：

基幹病院または連携病院で、指導医の指導を受けつつも自立して、面接技法、診断と治療計画の能力をさらに高め、薬物療法の技法も向上させる。また、精神療法としては、認知行動療法、力動的な精神療法についての技法を学ぶ。神経症性障害、摂食障害、種々のパーソナリティ障害の診断・治療を経験する。経験した症例を地方会などで発表する。

3年目：

指導医から自立して診療できるようになる。連携病院はより幅広い選択肢の中から専攻医の意向を考慮して選択する。引き続き、認知行動療法、力動的精神療法についての技法を学び、そのエッセンスを実践する。精神科デイケア・精神科作業療法を通して精神科リハビリテーションを学び、地域精神医療についても理解する。経験した症例を地方会などで発表する。

2) 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」（別紙）、「研修記録簿」（別紙）を参照。

3) 個別項目について

① 倫理性・社会性

基幹施設において他科の専攻医とともに研修会が実施される。リエゾン・コンサルテーションを通して身体科との連携を持つことや、院内の他職種の職員と連携を図ることによって、医師としての責任、社会性、倫理観、チーム医療の重要性を学ぶことができる。

② 学問的姿勢

専攻医は医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽を積み自己学習することが求められる。すべての研修期間を通じて与えられた症例を教室内の症例検討会で発表し、その過程で過去の類似症例を文献的に検討するといった姿勢を心がける。また、患者の症状を客観的指標を用いて評価する習慣を身につける。特に興味ある症例については、地方会、学会での発表や専門誌への投稿を考慮する。

③ 医療安全と感染対策について

専攻医は医療従事者の一人として、安全面や感染対策に対しても十分な知識と最新の注意を払うことが要求される。専攻医は指導医および精神科病棟師長から医療安全・感染対策に関する講義を受け、加えて院内で定期的に行われる医療安全講習会、感染対策講習会に出席することで、医療安全と感染対策に関する知識を身につける。

④ コアコンピテンシーの習得

研修期間を通じて、1) 患者との関係の構築、2) チーム医療の実践、3) 安全管理、4) プレゼンテーション技術、5) 医療における社会的、組織的、倫理的側面の理

解、を到達目標として医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法。リエゾン・コンサルテーションなどの精神科医特有のコンピテンシーの獲得を目指す。

⑤ 学術活動（学会発表、論文の執筆等）

臨床疑問を臨床研究に発展させ、期間施設を中心として研究活動を行い、その成果を学会や論文として発表する過程を通して、臨床研究の技量を身に付ける。また、期間施設において、興味のあるフィールドを掘り下げる基礎研究に従事することも可能である。

⑥ 労働環境、労働安全、勤務条件

労働基準法、労働安全衛生法に基づき規定されている、各施設の内規に則り、職場における医師の安全と健康を確保し、快適な職場環境を形成できるように管理していく。健康上に問題が生じた場合は、施設責任者あるいは産業医が対応する。

4) ローテーションモデル

典型的には1年目に基幹病院をローテートして精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3年目のうち1年間は単科精神科病院をローテートし、難治症例、慢性期症例、認知症症例などを幅広く経験し、地域精神医療についても理解する。また、単科精神科病院ローテート中に措置入院症例を経験する。

5) 研修の週間・年間計画
別紙参照

4. プログラム管理体制について

・プログラム管理委員会

委員長	木下 利彦	：関西医科大学総合医療センター	教授
委員	吉村 匡史	：関西医科大学総合医療センター	准教授
委員	嶽北 佳輝	：関西医科大学総合医療センター	病院准教授
委員	池田 俊一郎	：関西医科大学総合医療センター	講師
委員	鈴木 美佐	：関西医科大学総合医療センター	精神保健福祉士
委員	山本 敦子	：関西医科大学総合医療センター	作業療法士
委員	佐藤 幸代	：関西医科大学総合医療センター	看護師長

委員	大西	みゆき	：関西医科大学総合医療センター	研究室秘書
委員	加藤	正樹	：関西医科大学附属病院	准教授
委員	長尾	喜一郎	：医療法人長尾会ねや川サナトリウム	理事長・院長
委員	柏井	洋平	：医療法人清心会	八尾こころのホスピタル 院長
委員	太田	直也	：社会福祉法人青祥会	セフィロト病院 事務部長
委員	西阪	剛	：医療法人爽神堂	七山病院 事務部長
委員	香林	正仁	：医療法人以和貴会	金岡中央病院 医局員
委員	栗木	寛	：医療法人仁康会	小泉病院 事務長
委員	高瀬	勝教	：医療法人桐葉会	木島病院 院長
委員	村田	章	：医療法人白水会	紀泉病院 院長
委員	岩村	久	：医療法人おくら会	芸西病院 院長
委員	青木	浄亮	：医療法人社団瀬田川病院	院長
委員	由利	和雄	：公益財団法人青樹会	滋賀八幡病院 院長
委員	本西	正道	：医療法人好寿会	美原病院 院長
委員	分野	正雄	：医療法人正正会	分野病院 院長
委員	荒木	陽子	：地独)大阪府立病院機構	大阪府立精神医療センター医員
委員	市川	正浩	：医療法人社団光風会	三光病院 常務理事・院長
委員	宮川	真一	：市立豊中病院	部長
委員	藤田	宏史	：医療法人山西会	三田西病院 院長
委員	海賀	和宏	：医療法人敬性会	神戸白鷺病院 医局長
委員	長尾	浩史	：医療法人山西会	宝塚三田病院 副院長
委員	山本	敦司	：医療法人亀廣記念医学会	法人統括本部長
委員	玉垣	千春	：医療法人恒昭会	青葉丘病院 院長
委員	清水	信夫	：医療法人恒昭会	藍野花園病院 院長
委員	水津	信之	：医療法人貴和会	防府病院 院長
委員	藤寄	泰利	：医療法人社団立青会	なるかわ病院 院長
委員	高橋	大輔	：医療法人清風会	茨木病院 院長
委員	川村	博司	：医療法人社団向陽会	向陽病院 副院長
委員	飯田	仁志	：福岡大学病院	医局長

・プログラム統括責任者

木下 利彦

・連携施設における委員会組織

各連携病院の指導責任者および実務担当の指導医によって構成される。

5. 評価について

1) 評価体制

関西医科大学附属総合医療センター：木下利彦

関西医科大学附属病院：加藤正樹

医療法人長尾会 ねや川サナトリウム：長尾喜一郎

医療法人清心会 八尾こころのホスピタル：柏井洋平

社会福祉法人青祥会 セフィロト病院：松岡俊樹

医療法人爽神堂 七山病院：本多義治

医療法人以和貴会 金岡中央病院：香林正仁

医療法人仁康会 小泉病院：山岡信明

医療法人桐葉会 木島病院：高瀬勝教

医療法人白水会 紀泉病院：村田 章

医療法人おくら会 芸西病院：戎 正司

医療法人社団 瀬田川病院：青木浄亮

公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院：由利和雄

医療法人好寿会 美原病院：本西正道

医療法人正正会 分野病院：分野正雄

地独) 大阪府立病院機構 大阪府立精神医療センター：荒木陽子

医療法人社団光風会 三光病院：市川正浩

市立豊中病院：宮川真一

医療法人山西会 三田西病院：藤田宏史

医療法人敬性会 神戸白鷺病院：海賀和宏

医療法人山西会 宝塚三田病院：長尾浩史

医療法人亀廣記念医学会：亀廣摩弥

医療法人恒昭会 青葉丘病院：玉垣千春

医療法人恒昭会 藍野花園病院：清水信夫

医療法人貴和会 防府病院：水津信之

医療法人社団立青会 なるかわ病院：藤寄泰利

医療法人清風会 茨木病院：高橋大輔

医療法人社団向陽会 向陽病院：川村博司

福岡大学病院：川寄弘詔

2) 評価時期と評価方法

・6月、9月、12月、3月に、研修カリキュラム（「専攻医研修マニュアル」（別紙）、「研修記録簿」（別紙）参照）に基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、不足部分等に基づきその後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。

- ・研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ9月と3月に評価し、フィードバックする。

- ・1年後に1年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を統括責任者に提出する。

- ・その際の専攻医の研修実績および評価には研修記録簿を用いる。

3) 研修時に則るマニュアルについて

「研修記録簿（別紙）」に研修実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。総括的評価は精神科研修ハンドブックに則り、少なくとも年1回行う。

関西医科大学総合医療センターにて専攻医の研修履歴（研修施設、期間、担当した専門研修指導医）を保管する。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管する。

プログラム運用マニュアルは専攻医研修マニュアルと指導医マニュアルを用いる。

・専攻医研修実績記録

「研修記録簿」に研修実績を記録し、一定の経験を積むごとに専攻医自身が形成的評価を行い記録する。少なくとも年に1回は形成的評価により、指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的自己評価を行うこと。研修を修了しようとする年度末には総括的評価により評価が行われる。

・指導医による指導とフィードバックに記録

専攻医自身が自分の達成度評価を行い、指導医も形成的評価を行い記録する。少なくとも年1回は指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的評価を行い評価者は「劣る」、「やや劣る」の評価をつけた項目については必ず改善のためのフィードバックを行い記録し、翌年度の研修に役立てる。

6. 全体の管理運営体制

1) 専攻医の就業環境の整備（労務管理）

→ 各施設の労務管理基準に準拠する。

2) 専攻医の心身の健康管理

→ 各施設の健康管理基準に準拠する。

3) プログラムの改善・改良

→ 基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について討議し、継続的に改良を続ける。

4) FDの計画・実施

→ 年1回、プログラム管理委員会が主導し各施設における研修状況を評価する。

- ・入局後教育プログラム年次スケジュール（ローテーションモデル） 基幹施設
施設名；関西医科大学総合医療センター

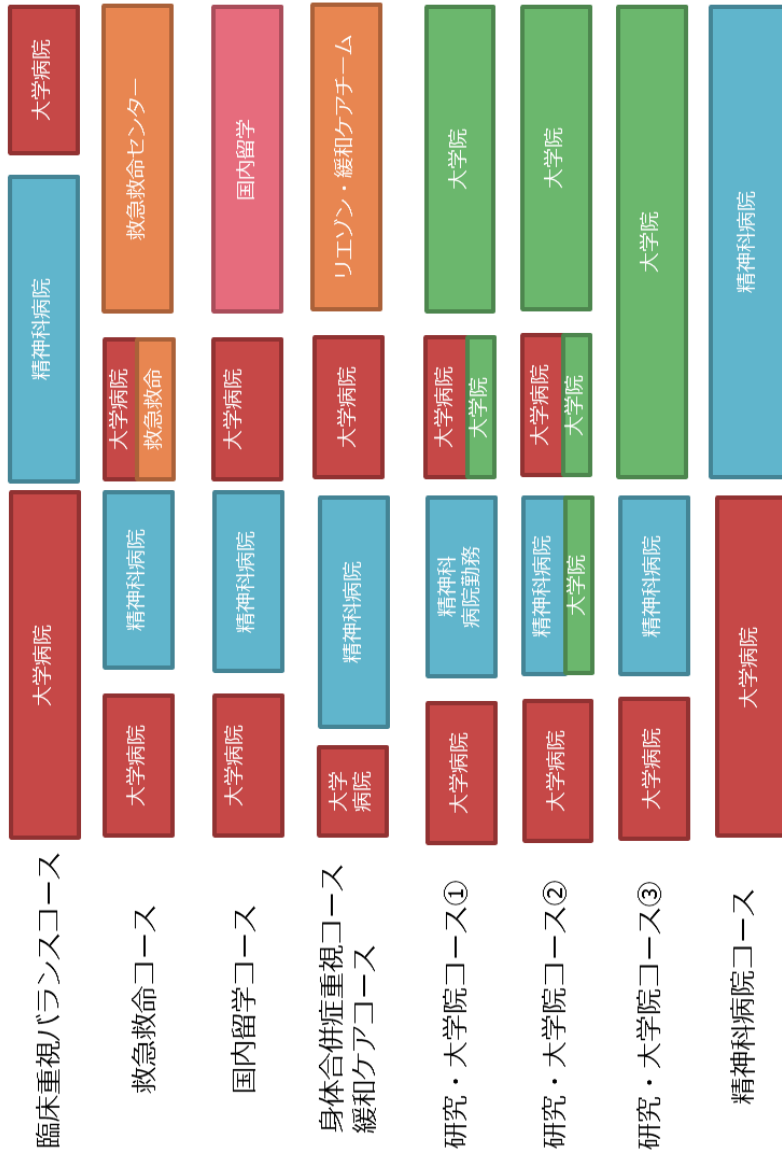
週間スケジュール

1. 施設名；関西医科大学総合医療センター

ローテーションモデル
入局後教育プログラムスケジュール（年次ごと）

※大学病院は基幹病院を示し、精神科病院は連携施設病院を示します

医師3年目 医師4年目 医師5年目 医師6年目 医師7年目
(精神科1年目)(精神科2年目)(精神科3年目)(精神科4年目)(精神科5年目)



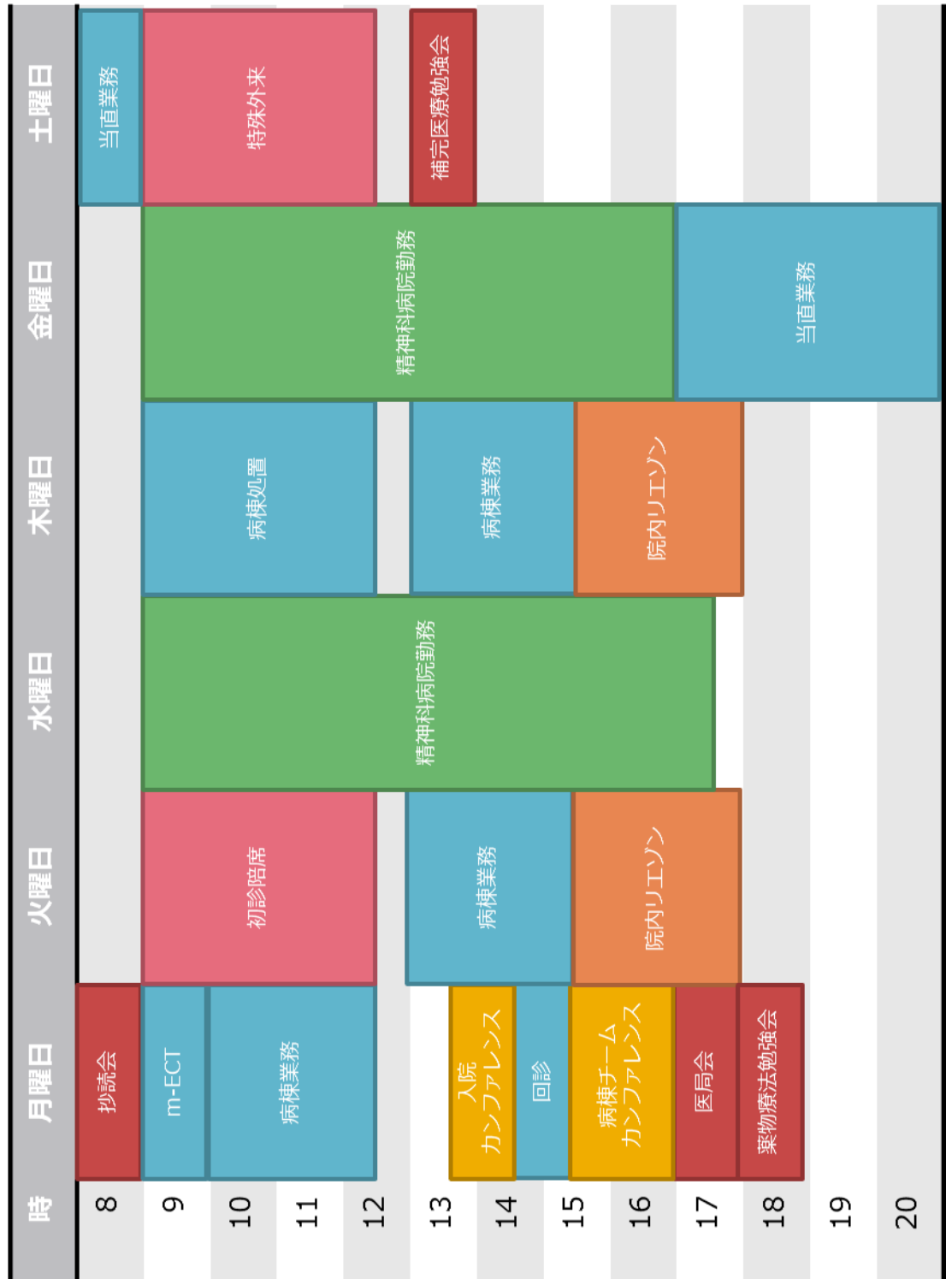
以下の連携施設より選択

- ・関西医科大学附属病院
- ・医療法人長尾会 ねや川サナトリウム
- ・医療法人清心会 八尾こころのホスピタル
- ・社会福祉法人青祥会 セフィロト病院
- ・医療法人爽神堂 七山病院
- ・医療法人以和堂 金岡中央病院
- ・医療法人仁康会 小泉病院
- ・医療法人桐葉会 木島病院
- ・医療法人白水会 紀泉病院
- ・医療法人おくら会 芸西病院
- ・医療法人社団 瀬田川病院
- ・公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院
- ・医療法人好美会 美原病院
- ・医療法人正正会 分野病院
- ・地独)大阪府立病院機構 大阪府立精神医療センター
- ・医療法人社団光風会 三光病院
- ・市立豊中病院
- ・医療法人山西会 三田西病院
- ・医療法人歌性会 神戸日鷲病院
- ・医療法人山西会 宝塚三田病院
- ・医療法人亀廣記念医学会 関西記念病院
- ・医療法人恒昭会 青葉丘病院
- ・医療法人恒昭会 藍野花園病院
- ・医療法人貴和会 防府病院
- ・医療法人社団立言会 なるかわ病院
- ・医療法人清風会 茨木病院
- ・医療法人社団向陽会 向陽病院
- ・福岡大学病院

8年目以降、海外留学・海外赴任
も含め、様々な機関で幅広くキヤ
リアを積めます。

上記のスケジュールはあくまで一例です。これら以外にも希望に応じ、柔軟な対応を行っております。

週間スケジュール (例)



※いずれの施設においても、就業時間が 40 時間/週を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。原則として、40 時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。

2. 施設名；関西医科大学附属病院

	月	火	水	木	金	土
午前	外来	外来	外来	外来	外来	ローテート
午後	カンファレンス ・勉強会	リエゾン・ 緩和ケア	リエゾン	リエゾン	リエゾン	

3. 施設名；医療法人長尾会ねや川サナトリウム

	月	火	水	木	金	土
8:20～8:40		医局会 (月 2 回)				
9:00～12:00	外来予診	外来予診	外来予診	病棟業務	デイケア 訪問診療 (月 1 回)	
13:00 ～ 15:00	病棟業務 認知症初期集中 支援カンファレ ンス (月 2 回)	病棟業務	デイケア	病棟業務 EC 研修 (不定期)	病棟業務	
15:30 ～ 16:30	精神身体合併症 診療業務	薬物療法勉 強会 (不定期)	精神科救急カ ンファ (不定期)	地域精神医療活 動・保健所業務同 伴 (月 1 回)	画像検査読 影カンファ (不定期)	
16:30 ～ 17:00		症例検討会	精神科救急 トレーニング (任意)			

4. 施設名；医療法人清心会 八尾こころのホスピタル

	月	火	水	木	金	土
午前	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療	外来診療
午後	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
会議予定				退院カンファレンス	医局会 症例検討	
					急性期病棟入院カンファレンス	
					認知症センターカンファレンス	

第2第4土曜日は休み

月例会議は 第3水曜日 アウトリーチ会議

第1水曜日 mECT 検討委員会

第2金曜日 クロザリル検討委員会 等々

入職時のオリエンテーションスケジュールを別紙に示します。

5. 施設名：社会福祉法人青祥会 セフィロト病院

	月	火	水	木	金	土
8:30-9:00	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	病棟回診	
9:00-12:00	外来予診 外来研修	外来予診 院長外来研 修	外来予診 外来研修	外来予診 外来研修	外来予診 外来研修	
13:00-17:00	施設往診 見学(不定 期) 病棟業務	精神医学セ ミナー 病棟業務	病棟業務	薬学セミ ナー(不定 期) 病棟業務	医局会/ 症例検討 会 病棟業務	
(16:00-17:00)	多職種カ ンファレ ンス(不定 期)	多職種カン ファレンス (不定期)	多職種カ ンファレ ンス(不定 期)	多職種カ ンファレ ンス(不定 期)	多職種カ ンファレ ンス(不定 期)	

6. 施設名；医療法人爽神堂 七山病院

	月	火	水	木	金	土
8:45～9:00	病棟	病棟	外来	病棟	外来	
9:00～12:00	病棟	病棟	外来	病棟	外来	
13:00～14:00	病棟	医局会	病棟	入院カンファレンス	入院カンファレンス	
14:00～17:00	病棟	勉強会	病棟	病棟	病棟	

7. 施設名；医療法人以和貴会 金岡中央病院

	月	火	水	木	金	土
9:30 ↓ 12:00	病棟 業務	病棟 業務	外来 業務	外来 業務	外来 業務	
13:00 ↓ 15:00	治療プログラ ム	入院 診察	入院 診察	入院 診察	治療プログラ ム	
15:00 ↓ 17:00	病棟 業務	病棟 業務	症例 検討会	病棟 業務		
その他						

8. 施設名；医療法人仁康会 小泉病院

	月	火	水	木	金	土
8:30-9:00	病棟ミー ティング	病棟ミー ティング	病棟ミー ティング	病棟ミー ティング	病棟ミー ティング	
9:00-12:30	病棟業務	病棟業務	病棟業務	外来業務	病棟業務	
13:30-14:30	医局会議 新入院紹介 カンファレ ンス	病棟業務	病棟業務	外来新患 病棟業務	病棟業務	
14:30-15:00	病棟業務					
15:00-16:00		病棟カン ファレン ス				
16:00-17:30		病棟業務				

9. 施設名；医療法人桐葉会 木島病院

	月	火	水	木	金	土
9:00-12:00	病棟業務	外来業務	病棟業務	外来業務	病棟業務	
12:00-13:00	医局会議					
13:00-17:30	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	

10. 施設名；医療法人白水会 紀泉病院

	月	火	水	木	金	土
9:00-10:00	カンファレンス	外来業務	カンファレンス	外来業務	病棟業務	
10:00-12:00	外来業務	回診	病棟業務	〃	〃	
13:00-15:00	病棟業務	病棟業務	在宅訪問	OT・テイクア	在宅訪問	
15:00-17:00	基幹病院	〃	〃	参加・研修	〃	
	研究会参加	〃	病棟業務	〃	CT・EEG 勉強会	

11. 施設名；医療法人おくら会 芸西病院

	午前	午後	夜間
月	病棟、デイケア	病棟（精神療養病棟）	当直
火	病棟、保護室回診	病棟（集団精神療法）	
水	藤戸病院	藤戸病院	
木	病棟、介護老人保健施設	病棟（認知症治療病棟）	
金	外来（初診、再診）	外来（初診、再診）	

12. 施設名；医療法人社団瀬田川病院

	月	火	水	木	金	土
9:00	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	外来業務 病棟業務	
13:30			病院運営会 議			
14:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
15:30	症例検討会	症例検討会	症例検討会	症例検討会	会議	
16:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
17:30						

13. 施設名；公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院

	月	火	水	木	金
午前	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察
午後	精神科デイケア・精神科作業療法 (各1週間いずれかを行う)				
	病棟診療、医局会、症例検討会、院内講義など				

14. 施設名；医療法人好寿会 美原病院

	月	火	水	木	金	土
9:00-12:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	デイケア診察	
13:00-1400	病棟業務	医局会 症例検討会	外来診察	病棟業務	病棟業務	
14:00-1700	病棟業務	病棟業務	外来診察	病棟業務	病棟業務	
17:00-9:00				当直業務		

15. 施設名；医療法人正正会 分野病院

	月	火	水	木	金	土
8:30-12:00	病棟業務	外来予診、 外来見学	病棟業務 もの忘れ外 来見学	病棟業務	病棟業務 もの忘れ外 来見学	
13:00-17:30	病棟業務	病棟業務 外来予診 外来見学	定例会 病棟業務 外来予診 外来見学	病棟業務褥 瘡回診	病棟業務 外来予診 外来見学	

16. 施設名：地独) 大阪府立病院機構 大阪府立精神医療センター

	月	火	水	木	金	土	日
9:00 ～ 12:00	・病棟回診 ・スーパー救急病棟ケースカンファ	・m-ECT ・外来初診インテーク	・病棟回診 ・医療観察法病棟カンファ	・外来初診インテーク	・m-ECT ・病棟回診	・当直業務陪席(適宜)	・当直業務陪席(適宜)
13:00 ～ 17:00		・病棟回診		・病棟回診	・スーパー救急病棟ケースカンファ		
17:00 ～	・児童思春期ケースカンファ		・医局ケースカンファ	・チュートリアル			

17. 施設名；医療法人社団 光風会 三光病院

	月	火	水	木	金	土
8:30~9:00						
9:00~12:00	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察
	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察
13:10~ 17:00	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	
	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察	
17:00~ 19:00	サラリーマン外 来					
断酒会	毎週 13:15~ 15:15 院内断酒会		第4水 18:00~ 20:00 初心者例会	毎週 12:30~ 14:30 院内断酒会		
				第1のみ 14:30~ 15:30		
				第2のみ 18:00~ 20:00		

18. 施設名；市立豊中病院

	月	火	水	木	金
朝	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス
午前	回診	外来（初診）	外来（再診）	もの忘れ外来	回診
午後	病棟往診 緩和ケアチーム カンファレンス	病棟往診	病棟往診	院内デイケア	回診
夕方			症例検討会	医局会	

19. 施設名 ; 医療法人山西会 三田西病院

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務	外来業務/ 病棟業務
13:00 ↓ 15:00	医局会/ 病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
15:00 ↓ 17:00	病棟業務/ 入院カンファ レンス	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
その他						

20. 施設名；医療法人敬性会 神戸白鷺病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ↓ 12:00	医局カンファレンス 外来病棟業務	医局カンファレンス 外来病棟業務	医局カンファレンス 外来病棟業務	医局カンファレンス もの忘れ外来	医局カンファレンス 外来病棟業務	医局カンファレンス 外来病棟業務
13:00 ↓ 15:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務
15:00 ↓ 17:00	病棟カンファレンス 院長回診	病棟業務	病棟業務 院長回診	病棟業務	病棟業務 院長回診	病棟業務
その他					不定期に 薬剤研修会	

21. 施設名；医療法人山西会 宝塚三田病院

	月	火	水	木	金	土	日
9~ 10	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	外来業務	救 急 医 療 (当 直) 月 1 回 程 度
10~ 11	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
11~ 12	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
12~ 13	医局会						
13~ 14	↓	症例検討会	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
14~ 15		↓	↓	↓	↓	↓	
15~ 16	病棟業務	↓	↓	↓	↓	↓	
16~ 17	↓	病棟業務	↓	↓	↓	↓	
17~ 18	↓	↓	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	
17~ ~9	救	急 週	医 1	療 回	(当 程	直) 度	

※各1回の週休日、外勤日有

※医局会、症例検討会は曜日等の変更有

22. 施設名；医療法人亀廣記念医学会 関西記念病院

	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 10:00	オリエンテ ーション					
9:30 ~ 12:00	病棟	訪問看護	外来	外来	デイケア	
13:00 ~ 16:00	病棟	病棟	病棟	病棟	病棟	
16:00 ~ 17:00	病棟	病棟	ケース会議	医局会 ベッドコン トロール会 議	病棟	

23. 施設名：医療法人恒昭会 青葉丘病院

	月	火	水	木	金
午前	外来診察	物忘れ外来	外来診察	外来診察	外来診察
午後	病棟診察 作業療法	医局会 症例検討会 病棟診察	病棟診察 作業療法	病棟診察 作業療法	病棟診察 作業療法

その他：月に2回 SST

(1カ月に1回、ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)の外出同行)

2カ月に1回、退院支援推進委員会への出席。

人権擁護委員会 (年2回)

集団精神療法 (毎月 第1、3水曜日)

24. 施設名；医療法人恒昭会 藍野花園病院

	月	火	水	木	金
午前	外来診察	外来診療来	外来診察	外来診察	外来診察
午後	病棟診察 作業療法 医局会 症例検討会	病棟診察 作業療法	病棟診察 作業療法	病棟診察 作業療法	病棟診察 作業療法

その他：1カ月に1回、退院支援推進委員会への出席。
人権委員会（年6回）

25. 施設名；医療法人貴和会 防府病院

	月	火	水	木	金	土
8:30-12:00	朝礼 病棟業務	外来予診 外来診療	病棟業務	週会 病棟業務	外来予診 外来診療	外来予診 外来診療
13:00-16:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
16:00-17:00	医局会議 (入退院 カンファ レンス・薬 事会議)	病棟業務	訪問看護、 デイケア、 栄養指導 カンファ レンス(月 1回)	病棟業務	病棟業務	

26. 施設名；医療法人社団立青会 なるかわ病院

	月	火	水	木	金	土
8:30-9:00						
9:00-12:00	病棟業務	外来業務	病棟業務	外来業務	外来業務	
13:00-16:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
16:00-17:00	病棟業務 個別症例 検討	病棟業務 医局会議 新入院カン ファレンス	病棟業務 個別症例 検討	病棟業務 個別症例 検討	病棟業務 抄読会	
18:00-20:00						

27. 施設名；医療法人清風会 茨木病院

	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
7:00							
8:00							
9:00	外来陪席	外来陪席	外来陪席	外来陪席	外来陪席		
10:00	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察		
11:00							
12:00	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩	昼休憩		
13:00							
14:00	デイケア参加	作業療法参加	地域生活活動支援センター”菜の花”参加	訪問看護同行	デイケア参加		
15:00	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察		
16:00							
17:00			医局会・症例検討				
18:00							
19:00	措置鑑定依頼あれば随時同行して頂く						
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							

28. 施設名；医療法人社団向陽会 向陽病院

	月	火	水	木	金	土
午前	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	
午後	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	
会議	医局会	多職種カ ンファレ ンス				

29. 施設名；福岡大学病院

	月	火	水	木	金
8:40~9:30	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス	病棟 カンファレンス
9:30~12:00	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟診療
	チーム ミーティング	閉鎖病棟 カンファレンス	デイケア	デイケア	チーム ミーティング
13:00~17:30	病棟回診	病棟診療	病棟診療	病棟診療	病棟 コミュニティ ミーティング
	症例検討会	リエゾン回診			
	外来 カンファレンス		リエゾン カンファレンス	デイケア or 病棟診療	デイケア or 病棟診療
	リエゾン カンファレンス	医局会			
	助手勉強会	抄読会			

別紙 年間計画(基幹・連携)

年間スケジュール

① 関西医科大学総合医療センター

4月		<ul style="list-style-type: none"> ・新入医局員・研修オリエンテーション ・新入医局員への集中講義
		毎週開催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・医局会 ・入院カンファレンス ・病棟カンファレンス
		定期的に関催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・Practical Pharmacotherapy in Psychiatry (精神科における実践的薬物治療)勉強会 ・薬理カンファレンス ・精神療法勉強会 ・神経科学勉強会 ・補完医療勉強会 ・薬物療法勉強会 ・リサーチカンファレンス ・モスアイズレー ・抄読会
5月		
		毎週開催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・医局会 ・入院カンファレンス ・病棟カンファレンス
		定期的に関催のカンファレンス
	・二大精神科フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・Practical Pharmacotherapy in Psychiatry (精神科における実践的薬物治療)勉強会 ・薬理カンファレンス ・精神療法勉強会 ・神経科学勉強会 ・補完医療勉強会 ・薬物療法勉強会 ・リサーチカンファレンス ・モスアイズレー ・抄読会
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本精神神経学会参加 ・日本老年精神医学会参加 ・日本緩和医療学会学術大会参加 	
		毎週開催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・医局会 ・入院カンファレンス ・病棟カンファレンス
		定期的に関催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・Practical Pharmacotherapy in Psychiatry (精神科における実践的薬物治療)勉強会 ・薬理カンファレンス ・精神療法勉強会 ・神経科学勉強会 ・補完医療勉強会 ・薬物療法勉強会 ・リサーチカンファレンス ・モスアイズレー ・抄読会
7月	・近畿精神神経学会参加	
		毎週開催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・医局会 ・入院カンファレンス ・病棟カンファレンス
		定期的に関催のカンファレンス
	・近畿地区精神科合同卒後研修講座	<ul style="list-style-type: none"> ・Practical Pharmacotherapy in Psychiatry (精神科における実践的薬物治療)勉強会 ・薬理カンファレンス ・精神療法勉強会 ・神経科学勉強会 ・補完医療勉強会 ・薬物療法勉強会 ・リサーチカンファレンス ・モスアイズレー ・抄読会
8月	・European College of Neuropsychopharmacology Congress	入局説明会
		毎週開催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・医局会 ・入院カンファレンス ・病棟カンファレンス
		定期的に関催のカンファレンス
	・近畿児童青年精神保健懇話会参加・開催	<ul style="list-style-type: none"> ・Practical Pharmacotherapy in Psychiatry (精神科における実践的薬物治療)勉強会 ・薬理カンファレンス ・精神療法勉強会 ・神経科学勉強会 ・補完医療勉強会 ・薬物療法勉強会 ・リサーチカンファレンス ・モスアイズレー ・抄読会
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本児童青年精神医学会 ・日本自殺予防学会 ・International Pharmacology EEG Society ・International Society for Brain Electromagnetic Tomography 	
		毎週開催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・医局会 ・入院カンファレンス ・病棟カンファレンス
		定期的に関催のカンファレンス
	・Translational Neuropsychopharmacology Conference	<ul style="list-style-type: none"> ・Practical Pharmacotherapy in Psychiatry (精神科における実践的薬物治療)勉強会 ・薬理カンファレンス ・精神療法勉強会 ・神経科学勉強会 ・補完医療勉強会 ・薬物療法勉強会 ・リサーチカンファレンス ・モスアイズレー ・抄読会
10月	・日本デイケア学会	
		毎週開催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・医局会 ・入院カンファレンス ・病棟カンファレンス
		定期的に関催のカンファレンス
		<ul style="list-style-type: none"> ・Practical Pharmacotherapy in Psychiatry (精神科における実践的薬物治療)勉強会 ・薬理カンファレンス ・精神療法勉強会 ・神経科学勉強会 ・補完医療勉強会 ・薬物療法勉強会 ・リサーチカンファレンス ・モスアイズレー ・抄読会

2. 施設名；関西医科大学附属病院

		月	火	水	木	金
午前	初診	医師A				医師A
	再診1	医師B	医師A	医師A	医師C	
	再診2		医師B	医師C		
	リエゾン初診	医師D	医師C	医師B	医師D	医師B
午後	緩和	医師C(病院再診)	医師C(外来再診)	医師C(外来初診)	医師C(外来再診)	
	リエゾン再診	医師B・Dで適宜				
	うつ病外来	医師B(初診)	医師B(再診)			
	香里病院リエゾン					医師B
	保健所	医師C		医師B		
	その他業務	緩和小委員会 リエゾンチームカンファ	部長・医長会(第4) 安全会議(第4)	保健薬事委員会		
出向				医師A・B	医師C・D	

3. 施設名；医療法人長尾会 ねや川サナトリウム

4月	オリエンテーション SR1 研修開始 SR2・3 前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出 研修医グラウンドラウンド（毎月開催）
5月	寝屋川市メンタルカンファレンス参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	院内研修・演題発表
8月	日本うつ病学会総会参加（任意）
9月	大阪精神科病院協会定例会参加
10月	日本デイケア学会参加 SR1・2・3 研修中間報告書提出
11月	日本精神科医学会参加 大阪府立精神医療センター・ねや川サナトリウム合同講演会参加
12月	日本精神科救急学会総会参加 研修プログラム管理委員会参加
1月	寝屋川市病診連携カンファレンス参加
2月	「海外の精神医療を通して日本の精神科医療を考える会」大討論集会参加
3月	院内研究発表会・演題発表 SR1・2・3 研修報告書の作成 研修プログラム評価報告書の作成

4. 医療法人清心会 八尾こころのホスピタル

4月	オリエンテーションプログラムを実施（第1年次のみ） 新人研修あり 家族教室参加
5月	オリエンテーションプログラムを実施（第1年次のみ）
6月	家族教室参加
7月	日本精神神経学会への参加（必須） 認知症センター研修会に参加
8月	家族教室参加 地域交流のための病院主催の夏祭り
9月	症例検討会への症例提示 研修会参加 デイケア学会への参加
10月	家族教室参加
11月	地域交流のための祭り参加
12月	家族教室参加
1月	認知症カフェへの参加
2月	症例検討会への症例提示 家族教室参加
3月	認知症センター研修

5. 施設名；社会福祉法人青祥会 セフィロト病院

4月	研修医オリエンテーション・グラウンドラウンド（毎月開催） 薬事委員会参加（3ヶ月毎開催） 作業療法科主催行事（花見）参加
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年医学会参加（任意） 滋賀県精神科病院協会主催行事（運動会）参加
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	作業療法科主催行事（盆踊り）参加（任意）
9月	
10月	
11月	作業療法科主催行事（文化祭）参加
12月	作業療法科主催行事（クリスマス会）参加
1月	滋賀県精神科病院協会主催行事（文化祭）参加
2月	
3月	青祥会研究発表大会参加 日本統合失調症学会参加（任意）

6. 施設名；医療法人爽神堂 七山病院

4月	
5月	院内講演会
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年医学会参加（任意）
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	院内講演会
9月	日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	
11月	日本精神科医学会学術大会 地方精神神経学会参加・演題発表 院内講演会
12月	
1月	
2月	院内講演会
3月	日本統合失調症学会（任意）

7. 施設名；医療法人以和貴会 金岡中央病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション 大阪府断酒会酒害相談講習会 参加
5月	断酒連合会家族会1日研修会 参加
6月	日本精神神経学会学術総会 参加 和歌山断酒道場記念集会、堺・大阪断酒連合会研修 参加
7月	泉州断酒連合会1日研修会 参加
8月	大阪府断酒会・行政・医療スタッフ懇談会 参加
9月	大阪府断酒会記念大会 参加
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	すみれ会(大阪市家族会)記念例会 参加
3月	総括的評価 研修プログラム評価報告書の作成
その他	各作業所での例会、酒害ミーティングに参加 アルコール関連問題学会 参加

8. 施設名；医療法人仁康会 小泉病院

4月	<p>○診療会議（毎月）</p> <p>○退院支援委員会（毎月）</p> <p>○地域移行支援委員会（毎月）</p> <p>○薬剤委員会</p> <p>○新規採用者初任者研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仁康会および小泉病院の組織（講師：栗木事務長） ・ 精神医療と法（講師：山岡院長） ・ 新入社員の心構えと接遇（講師：森看護部長） ・ 精神医療の今後の方向性（講師：山岡院長） ・ 精神障害の理解（講師：小野副院長） ・ 接遇研修（講師：外部講師） <p>○院内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近の精神科援助の動向（講師：小野副院長）
5月	<p>○院内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学術研修 「服薬指導について」（講師：泉薬剤科長）
6月	<p>○管理会議</p> <p>○薬剤委員会</p> <p>○院内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理研修「前年度インシデントレポート全報告の分析」（講師：医療安全管理委員会） ・ 行動制限最小化研修「当院における行動制限の現状と今後の課題」（講師：行動制限最小化委員会）
7月	<p>○院内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内研究発表会 院外研究発表選考会（研修委員会）
8月	<p>○薬剤委員会</p> <p>○院内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例検討会 「障害者虐待防止について」（講師：さくら草 金本所長）
9月	<p>○管理会議</p> <p>○院内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理研修 「食事の正しい摂取時間」（講師：清水管理栄養士）
10月	<p>○薬剤委員会</p> <p>○院内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学術研修 「職場におけるメンタルヘルスについて」（講師：永山医師）
11月	<p>○院内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人権推進学習（講師：三原市経済部商工振興課より派遣）

12月	○管理会議 ○薬剤委員会 ○院内研修会 ・医療安全管理研修「インシデントレポート上半期報告の分析」 （講師：医療安全管理委員会） ・行動制限最小化研修「当院における行動制限の現状と今後の課題」 （講師：行動制限最小化委員会）
1月	○院内研修会 ・学術研修 「認知行動療法」 （講師：西村心理士）
2月	○薬剤委員会 ○院内研修会 ・事例検討会 「港町クリニックでの困難事例」 （講師：港町クリニックスタッフ）
3月	○管理会議 ○院内研修会 ・接遇研修 「グループディスカッション」(院内研修委員)

9. 施設名；医療法人桐葉会 木島病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本精神科病院協会・精神医学会参加
11月	
12月	
1月	
2月	近畿精神神経学会参加
3月	研修プログラム評価報告書の作成

10. 施設名；医療法人白水会 紀泉病院

4月	オリエンテーション。研修医ブランドラウンド 指導実績報告提出 春期院外レクレーション研修
5月	基幹病院研修会参加 日本神経学会参加（任意）
6月	日本精神神経学会学術総会参加・発表 日本老年医学会参加（任意）
7月	日本老年精神医学会参加（任意） 近畿精神神経学会 参加
8月	地区大学合同研修会 参加
9月	日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	秋期院外レクレーション研修 参加
11月	日本神経生理学会参加・発表（任意）
12月	院内レクレーション研修 参加
1月	
2月	近畿精神神経学会 参加
3月	研修プログラム評価・報告書の作成 研修総括書作成

11. 施設名；医療法人おくら会 芸西病院

月間スケジュール

医局会（第1金曜）

医療安全管理委員会（第2火曜）

診療部会（第3火曜）

症例検討会（第4金曜）

院外研修会等年間スケジュール

高知県精神科医会学術講演会（5月、9月、11月、2月）

みずき研究大会（11月）

日本精神神経学会（5月）

12. 施設名；医療法人社団瀬田川病院

4月	オリンテーション 滋賀精神科医学会参加
5月	
6月	日本精神神経学会参加 日本老年精神医学会参加
7月	近畿精神神経学会参加
8月	
9月	
10月	滋賀精神科医学会参加
11月	
12月	
1月	
2月	近畿精神医学会参加
3月	

13. 施設名；公益財団法人青樹会 滋賀八幡病院

4月	オリエンテーション/SR1 研修開始/SR2・3 前年研修報告書提出/指導医の指導実績報告提出 滋賀県臨床行動科学研究会参加
5月	基幹病院研究会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会総会参加
7月	近畿精神神経学会参加 近畿精神科卒後研修講座参加
8月	
9月	日本生物学的精神医学会参加
10月	基幹病院研究会参加/SR1・2・3 研修中間報告書提出 滋賀県臨床行動科学研究会参加
11月	院内研究会参加・演題発表
12月	研修プログラム管理委員会参加
1月	
2月	近畿精神神経学会参加・演題発表
3月	SR1・2・3 研修報告書・研修プログラム評価報告書の作成

14. 施設名；医療法人好寿会 美原病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	近畿精神神経学会参加・演題発表
12月	
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告書の作成

15. 医療法人正正会 分野病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	近畿精神神経学会参加
8月	
9月	
10月	日本臨床精神神経薬理学会参加（任意）
11月	
12月	
1月	
2月	近畿精神神経学会参加
3月	

16. 施設名：地独）大阪府立病院機構 大阪府立精神医療センター

4月	オリエンテーション
5月	包括的暴力防止プログラム（CVPPP）研修（4日間）
6月	日本精神神経学会学術集会参加 日本司法精神医学会参加（任意）
7月	近畿精神神経学会参加
8月	院内トピックス研修（内容は各年度当初に決定）
9月	臨床研修評価面談（中間）
10月	日本精神科救急学会（任意） 日本児童青年精神医学会（任意）
11月	
12月	日本精神障害者リハビリテーション学会（任意）
1月	
2月	近畿精神神経学会参加
3月	臨床研修評価面談（年度末）
その他	

17. 施設名；医療法人社団 光風会 三光病院

4月	
5月	
6月	日本精神神経学会 学術総会 出席
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	
4月	

その他

- 1) 地方精神神経学会
- 2) 県内精神科集団会
- 3) アルコール・薬物 等 学会（研修会）
- 4) 希望に応じ

18. 施設名；市立豊中病院

4月	オリエンテーション 指導医の指導実績報告提出
5月	大阪総合病院精神医学研究会学術総会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本総合病院精神医学会無床フォーラム参加 日本緩和医療学会総会参加（任意）
7月	日本総合病院精神医学会有床フォーラム参加（任意）
8月	夏季休暇
9月	日本サイコオンコロジー学会参加（任意）
10月	研修中間評価 日本児童青年精神医学会学術総会参加（任意）
11月	日本総合病院精神医学会総会参加・演題発表
12月	日本認知症学会学術総会参加（任意）
1月	市立豊中病院医学雑誌投稿
2月	
3月	研修総括評価 研修プログラム評価報告書の作成

19. 施設名；医療法人山西会 三田西病院

年間スケジュール

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会
7月	
8月	
9月	オリエンテーション
10月	
11月	地方精神神経学会
12月	
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告作成
その他	入退院カンファレンス 症例検討会 適宜

20. 施設名：医療法人敬性会 神戸白鷺病院

時期	研修内容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	近畿精神神経学会参加
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	近畿精神神経学会参加
3月	研修プログラム評価報告書の作成
その他	

21. 施設名：医療法人山西会 宝塚三田病院

4月	新入局員・研修医オリエンテーション OT・DNC 研修
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本司法精神医学会大会参加 日本老年精神医学会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本精神科救急学会学術総会参加 日本児童青年精神医学会総会参加
11月	日本精神科医学会学術大会参加
12月	
1月	
2月	
3月	

22. 施設名：医療法人亀廣記念医学会 関西記念病院

4月	オリエンテーション、入院患者レクリエーション（お花見）
5月	
6月	
7月	
8月	関西記念病院夏まつり
9月	
10月	
11月	亀廣記念医学会物故者法要
12月	入院患者レクリエーション（クリスマス会）
1月	
2月	
3月	

23. 施設名：医療法人恒昭会 青葉丘病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	近畿精神神経学会参加（任意）
8月	病院レクレーション（スポーツ大会）
9月	
10月	日本精神科病院協会・精神医学会参加（任意） 病院レクレーション（秋祭り）
11月	
12月	
1月	
2月	近畿精神神経学会参加（任意）
3月	病院レクレーション（カラオケ大会） 研修プログラム評価・報告書の作成 研修総括書作成

24. 施設名；医療法人恒昭会 藍野花園病院

4月	オリエンテーション
5月	病院レクレーション（バスレク） デイケアレクレーション（デイケア祭り）
6月	日本精神神経学会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	近畿精神神経学会参加（任意）
8月	病院レクレーション（夏祭り）
9月	
10月	日本精神科病院協会・精神医学会参加（任意）
11月	病院レクレーション（花園祭り）
12月	
1月	
2月	近畿精神神経学会参加（任意）
3月	研修プログラム評価・報告書の作成 研修総括書作成

25. 施設名；医療法人貴和会 防府病院

4月	オリエンテーション 新入職員研修会
5月	
6月	山口県脳とこころの研究会（任意） 日本精神神経学会学術総会参加（任意） 日本老年医学会参加（任意）
7月	日本うつ病学会参加（任意） 山口県指定医協議会
8月	
9月	新入職員後期研修（他部署訪問） 山口県精神科病院協会研修会 日本生物学的精神医学会参加（任意）
10月	SR1・2・3 研修中間報告書提出 山口県脳とこころの研究会（任意） 日本認知・行動療法学会参加（任意）
11月	中・四国精神神経学会参加・演題発表
12月	院内研究発表会
1月	
2月	日本不安症学会参加（任意） 山口県脳とこころの研究会（任意）
3月	研修プログラム評価報告書の作成 日本統合失調症学会（任意）

出張は年間2回まで病院より旅費を支給する

26. 施設名；医療法人社団立青会 なるかわ病院

4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	日本精神科医学会学術大会参加
8月	
9月	
10月	日本精神科救急学会学術総会参加 日本児童青年精神医学会参加
11月	日本臨床精神神経薬理学会総会参加
12月	
1月	
2月	
3月	研修プログラム評価報告作成
その他	適宜 症例検討 入退院カンファレンス

27. 施設名；医療法人清風会 茨木病院

月	日	イベント	備考
4月		オリエンテーション	
5月			
6月		日本精神神経学会学術総会	任意参加
		日本老年精神医学会	任意参加
7月		近畿精神神経学会	必須参加
		日本うつ病学会学術総会	任意参加
8月			
9月			
10月		日本精神科救急学会学術総会	任意参加
		日本認知症学会学術集会	任意参加
11月		日本精神科医学会学術大会	任意参加（日本精神科病院協会主催）
12月			
1月			
2月		近畿精神神経学会	必須参加
3月		日本統合失調症学会学術総会	任意参加
		総括	

28. 施設名；医療法人社団向陽会 向陽病院

4月	
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	
8月	
9月	
10月	日本精神科診断学会参加（任意） 日本児童青年精神医学会参加（任意）
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

29. 施設名：福岡大学病院

4月	オリエンテーション
5月	福岡精神科集団会参加
6月	日本精神神経学会学術総会参加 日本老年精神医学会参加（任意）
7月	日本うつ病学会参加（任意）
8月	
9月	福岡精神科集談会参加 日本自殺予防学会（任意）
10月	
11月	
12月	九州精神神経学会参加・発表
1月	医局年始研究会参加
2月	日本社会精神医学会（任意）
3月	医局年度末研究会発表